



様式第4号(第6条関係)

平成 29年 4月 25日

三芳町議会議長 菊地 浩二 様

三芳町議会議員 吉村美津子

### 政務活動費収支報告書

三芳町議会政務活動費交付条例第6条の規定により、下記のとおり平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

#### 記

#### 1 収 入

政務活動費

金 60,000 円

#### 2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	30,249	交通費 土産代 宿泊費
研 修 費	2,200	参加費 交通費
会 議 費		
資 料 購 入 費	8,496	書籍代
事 務 費		
合 計	40,945	

3 残 額 金 19,055 円

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載するとともに領収書等の写しを添付すること。  
2 政務活動報告書を添付すること。  
3 年度終了後30日以内に提出する。



様式第3号 (細則第3条第1項第2号関係)

政務活動費領収書・支払証書綴

領収証 三芳町議会議員 吉村美津子様 No. 1

金額	¥6296
----	-------

内訳  
現金 2016年8月24日 上記正に領収いたしました  
小切手 /  
手形 /  
消費税額等 (%)

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-17  
あかつき書店  
TEL 048-658-5551 FAX 048-647-1999

あかつき書店印

GR1615

領収証 2016年10月20日 NO.AD-007277

増田 磨美 様

2 本名議員 増田磨美議員 吉村美津子議員 3人で案内458円

金額	¥1375
----	-------

但し御品代として 上記の金額正に領収致しました

内消費税等 101-  
内送料等  
レシートNo 3519  
備考 特注(現)小・信

川越 和菓子の老舗 有限会社 くらげ餅屋  
本社 埼玉県川越市久保町5-3 電話 049(225)0225(代)  
発行店印 アイエー三芳店 049-259-6495

取扱者印 (又はサイン)

(注)金額を訂正したもの、発行店印、取扱者印(又はサイン)のないもの、及び複写でないもの等は無効です。尚、重複しての領収証は、発行できません。ご容赦下さい。

領収書 Receipt 領収書 No. 0145168 平成 28年10月21日

三芳町議会議員 吉村美津子 様

領収金額	7,002 円	現金・小切手	7,002 円
(内消費税 518 円)		クレジット	0 円
		交通系IC	0 円

トヨタレンタカーをご利用いただき、誠に有り難うございます。ご利用料金として上記金額を正に領収いたしました。(なお、扱者印無きもの、又は金額訂正したものは無効です)

営業店舗 鶴瀬駅前店  
住所 富士見市鶴馬2615-1  
電話番号 049-255-0100  
株式会社 トヨタレンタカー 新埼玉  
本社 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-206-1

本名議員 増田議員と案内 2334円

扱者印

様式第3号 (細則第3条第1項第2号関係)

政務活動費領収書・支払証書綴



貸渡料金精算明細書 (兼 ご請求書) Rental Agreement

お客様控

貸渡人 株式会社トヨタレンタリース新埼玉  
 鶴瀬駅前店  
 富士見市鶴馬2615-1

RA610R  
 発行年月日: 平成 28年10月21日  
 貸渡N: 1436293

電話番号049-255-0100

借受人 名称 吉村美津子 様  
 住所 人間郡三芳町上富773-5

項目	予定料金	精算料金
基本料金	5,400	5,400
カード割引額(0%)	0	0
その他割引額(0%)	0	0
*	0	0
小計	5,400	5,400
免責補償料	1,080	1,080
特別装備料	0	0
添付品料金	0	0
ワンウェイ料金	0	0
燃料代		522
引取配車料	0	0
	0	0
ご利用額	6,480	7,002
リース無償代車		0
NOC		0
免責実費料		0
お支払額	6,480	7,002
内消費税	480	518
予約金	0	0
船乗車券	0	0
当日預り金	6,480	6,480
現金		
預り金合計	6,480	6,480
マイル・ポイント利用	0	0
ご請求金額	0	522

<お貸しする車両>  
 貸渡車両 ヴェッツ(10/12-) 燃料 ガソリン  
 登録N: 所沢 500わ4982

料金クラス P1-K 車両クラス P1-K  
 <ご利用内容>

	予定貸渡	貸渡	メーター(Km)
着	10月21日15時30分	10月21日14時34分	24,720
発	10月21日7時47分	10月21日7時47分	24,650
利用分	0日7時間43分	0日6時間47分	70

料金種別 一般料金 料金割引率 0%

添付品

乗車人数 0名  
 返却営業店舗 鶴瀬駅前店 049-255-0100 返却府県 県内  
 運転者氏名 吉村 美津子 様

現金	522
この請求金額	
支払内額	
額	

**トヨタレンタカー**

トヨタレンタカー予約センター  
 0800-7000-111 無料  
※予約受付時間: 9時~22時(年中無休) ※一部店舗は24時間予約受付可です。

ホームページトヨタレンタカータイプ  
[www.toyota.co.jp/rent/](http://www.toyota.co.jp/rent/)  
※詳しくはこちら! http://rent.toyota.co.jp

3の明細

2334

様式第3号 (細則第3条第1項第2号関係)

政務活動費領収書・支払証書綴

4

領収証  
吉村美津子様

三芳町議会議員様 2016年11月19日

★ ¥800-

但 学習会参加資料代  
上記正に領収いたしました

内訳  
税抜金額  
消費税額等(%)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44

家庭栄養研究会

TEL: 03-3518-0624  
FAX: 03-3518-0622

コクヨ ウケ-1048

領収証

5

三芳町議会議員

吉村美津子様 2016年11月19日

¥2200

但 書務代 (黒田先生)

上記正に領収いたしました 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44

株式会社 食べ物の通達社

TEL: 03-3518-0624  
FAX: 03-3518-0622

内訳  
税抜金額  
消費税額等(%)

この用紙は森林保全に配慮したFSC認証パルプを使用しています。花運障害の原因と発症メカニズム

様式第3号 (細則第3条第1項第2号関係)

政務活動費領収書・支払証書綴

6

領収証

2017年 2月 1日

NO.AD- 023700

三芳町議会議員 吉村美津子 様

本名議員  
増田議員  
と案分

金額 73440-

収入  
印紙

但し 御品代 として

上記の金額正に領収致しました

1147円  
内消費税等 254-

内送料等

レシートNo 2649

備考 特注・領小・信

愛知県 川崎 和菓子のお舗  
有限会社 **くらげお舗**  
本社 050-0055 埼玉県川越市久保町5-3 049(225)022500  
発行店印 **ダイエー三芳店** 049-259-6495

取扱者印  
(又はサイン)



(注)金額を訂正したもの、発行店印、取扱者印(又はサイン)のないもの、及び複写でないもの等は無効です。尚、重複しての領収証は、発行できません。ご容赦下さい。

7

領収証

日本旅行  
NIPPON TRAVEL AGENCY

No.4408-170014644-001

発行日 2017年04月11日

OC番号 04383293020170202

ご氏名 吉村美津子

様

¥ 23,100 -

ただし 02月02日出発 米原方面 JR・宿泊セットプラン代金として(宿泊施設名:東横イン米原駅新幹線西口)

クレジットカード決済にて領収いたしました。

株式会社日本旅行  
ICT営業推進部



本証は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

※記載事項の変更または再発行をご希望の場合は、予約取扱い店舗までお問い合わせください。また、その場合は印刷済みの領収証を予約取扱い店舗までご送付いただくことになります。

様式第4号（細則第3条第1項第3号関係）

## 支 払 証 書

支 払 額 4,610円

上記の金額を支払ったことを証します。

平成 29年 4月 25日

三芳町議会議員  
氏 名

吉村美津子

支払内訳・内容	バス・電車代
理 由	領収書のなりの分
債 権 者 名	

NO1

野洲市・川崎市視察時の領収書なし分

吉村美津子

平成 29 年 2 月 2 日 (木)

ライフバス	東草—鶴瀬駅	220円
東武東上線	鶴瀬—池袋	360円
JR東海道本線	米原—野洲	670円
JR東海道本線	野洲—米原	670円

平成 29 年 2 月 3 日 (金)

京浜急行	品川—川崎	230円
JR・東急電鉄・東京メトロ・東武鉄道		
	川崎—武蔵小杉—渋谷—和光市—鶴瀬	840円
ライフバス	鶴瀬駅—東草	220円

合計 3210円



家庭栄養研究会主催の学習会参加

バス代・電車代交通費の領収書なし分

平成28年11月19日

ライフバス 東草 ↔ 鶴瀬駅 440円

電車 鶴瀬駅 ↔ 新高円寺駅 960円

合計 1400円

吉村美津子

平成29年 4月 24日

三芳町議会議員 菊地 浩二 様

三芳町議会議員  
氏 名

吉村 美津子

政務活動報告書

三芳町議会政務活動費交付条例第6条の規定により、下記により平成28年度政務活動報告書を提出します。

記

1 調査事項	子育て支援策
2 調査場所	埼玉県滑川町
3 調査日	平成28年10月2日(金)~平成28年10月2日(金)
4 参加者	本名洋、増田磨美 吉村美津子
5 調査結果(概要) (資料のあるときは添付)	・学校給食費無料化 ・第3子以降の出産祝金20万円 支給 ・18歳までの医療費無償化 ・若者の人口増となっている。

平成29年4月24日

三芳町議会議長 菊地 浩二 様

三芳町議会議員  
氏 名

吉村美津子

政務活動報告書

三芳町議会政務活動費交付条例第6条の規定により、下記により平成28年度政務活動報告書を提出します。

記

1 調査事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活困窮者への生活再建支援施策</li> <li>川崎市子どもの権利に関する条例</li> </ul>	2日 3日
2 調査場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>滋賀県野洲市市民生活相談課</li> <li>神奈川県川崎市こども未来局青少年支援室子ども権利担当</li> </ul>	2日 3日
3 調査日	平成29年2月2日(木)～平成29年2月3日(金)	
4 参加者	本名洋、増田磨美、 吉村美津子	
5 調査結果(概要) (資料のあるときは添付)	<p>。市民生活相談課が、相談者の窓口となり、相談内容を他の課や関係機関と連携し、生活再建施策と講じて支援する。</p> <p>平成元年11月20日国連連合総会で採択された「児童の権利に関する条約」の理念に基づき制定したもの。前文と第1条から第41条まで定められている。多文化読み聞かせ隊による子どもたちと老いる「けんぽう」のほしや子ども夢パークの設置などがある。</p>	

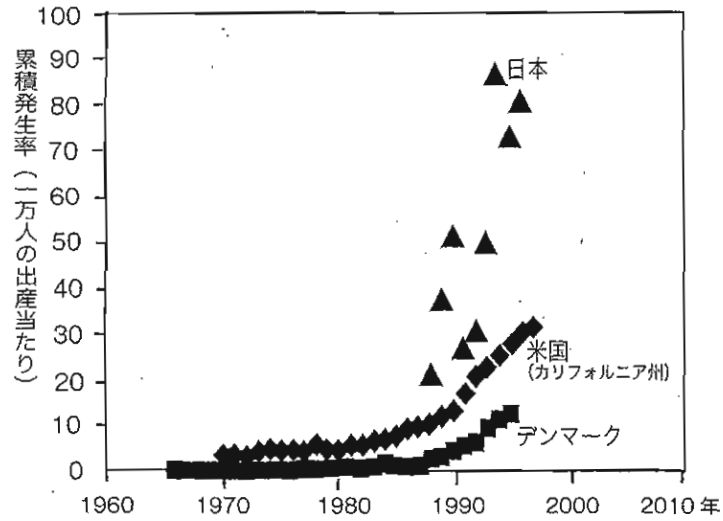


図3-1 1980～1990年代の日米欧の自閉症発生率の急増 (文献47より改変)

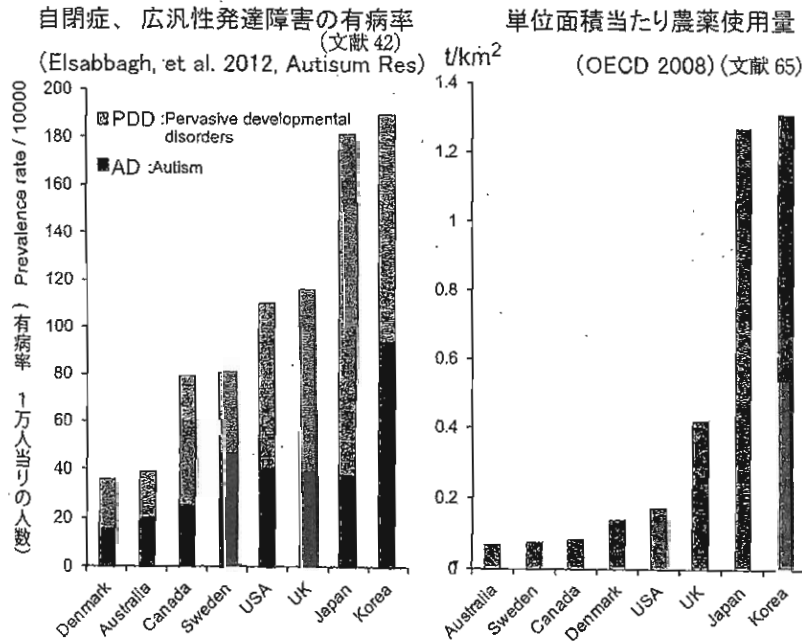


図8-1 日本の農業使用の実態：単位面積当たりの国別農業使用量  
PDDは広汎性発達障害、ADは自閉性障害。日本は米国の約7倍、フランスの約3倍も農薬を使用している。

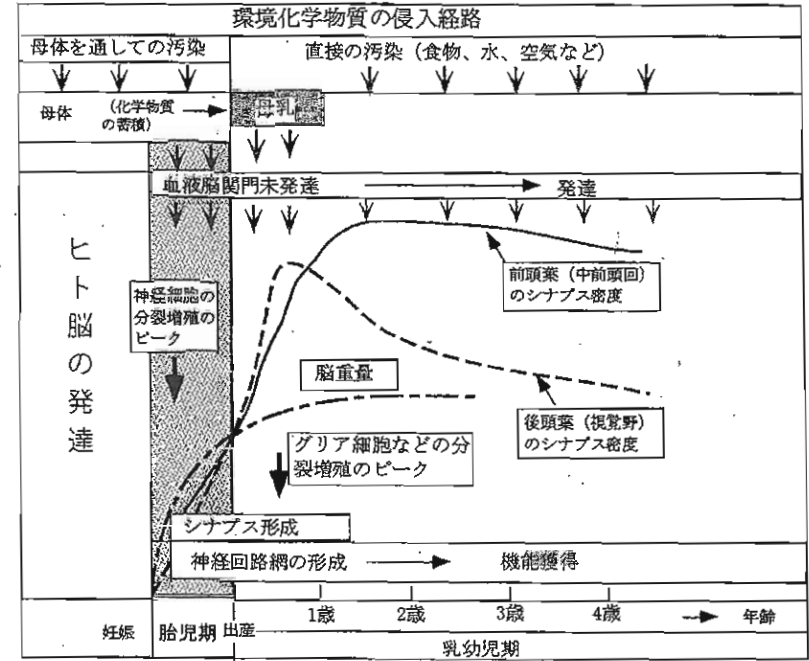


図4-2 ヒト胎児・乳幼児期の脳 (シナプス) の発達と毒性のある化学物質の脳への侵入しやすさ 胎児期から乳児期にかけて、盛んにシナプス形成が行われ神経回路ができるが、ちょうどその時期に、母体を汚染した毒性化学物質も血液脳関門が未発達の子どもの脳に入りやすいことに注意。(黒田洋一郎『環境ホルモン』Vol 4: 特集「環境病」文献76aより)

黒田洋一郎氏：資料  
『発達障害の原因と発症メカニズム』より

—東京都神経科学総合研究所客員研究員、医学博士 黒田洋一郎さん—

# 目に見えない肝心なことで



脳神経学の基礎研究、とくに記憶の研究者としてアルツハイマー病に関しては第一人者。近年子どもの脳のおかしさからくる行動異常を、ご自身の調査研究データから社会的問題として警告している黒田洋一郎先生に、お話を伺いました。

(聞き手/写真 蓮尾隆子)

子どもの事件の背景に  
環境由来の化学物質が…



環境化学物質に対する脳への多様な影響の1つとして、胎児・乳幼児期の発達障害を懸念されていますが…



米国では早くから、PCBや農薬など化学汚染物質と子どもの脳神経系の疾患・障害との関連が注目されてきました。

た。全米ではいまや、10歳以下の子どもの17%が行動障害・精神症状に何らかの問題をもっているという統計があります。日本でも半世紀前から農薬など化学物質による環境汚染が全国的に進行しており、近年は学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、自閉症が増加し、最近の文部科学省の調査ではLD、ADHD、自閉症と思われる子が学童の約6%にまで達していると公表されています。

私は、記憶などヒトの脳高次機能分子生物学や神経毒性学を専門としている研究者ですが、頻りに報道される子どもや青年の異常な犯罪、連続する児童への虐待事件より一般的に発症している「切れやすい」「引きこもり」現象、そして「学力低下」傾向などが社会問題化している背景には、環境由来の化学物質(環境ホルモンなど、複合汚染)が脳の機能発達に異常をもたらしめている、可能性を無視でき

目に見えるようになって  
かたは運ん



講演や執筆で、よく「肝心の王子さま」の影響ですと表現されていますね。



サンテクジュベリの「星の王子さま」の影響です

(笑)。日本人は、自分の生活の中で目に見えないものに対しては、ほとんど思考停止状態ですよ。目に見えるようになってから騒ぎだすんです。それでは遅い。国の対応をみても、花粉症もしかし、子どもの脳の問題もしかし、食の安全問題もしかし。イラクの問題だってそうです。花粉症は80年代には、ディーゼルの排気ガスの微粒子が原因であることが明らかになっていたのに、患者数の激増という目に見える状況にならな

いど国は対策を講じようとしませんでした。環境汚染の問題も、食の安全の問題も全国的に平均的に汚染されてしまっているの、日本だけでは疫学調査すらできなくなっています。これらをもみても、すでに数十年にわたって放置されたグローバルな化学物質汚染が、局所的でなく、進行拡大型汚染、複合汚染に繋がっていると思いますね。

花粉症のようにすぐに死に至

らなくても、生活の質にかかわる多様な問題が顕在化してくるでしょう。大気汚染、電磁波など人々の健康と安全にかかわる多方面のリスクを、早期に積みとる危険の予測管理システム、情報の公開が必要で、「規制するのは科学的データが集まってから」なんていつていたら、取り返しがつかない重大な害が起きるかもしれないです。ですから「予防原則」の考えにたつたシステム作り、危機管理なくしては防ぎようがない時代なんです。



予防原則を求めるための市民活動はどのようなべきでしょうか？



市民レベルの意識と力は、ある面では専門家を超える団体や人たちが出てきています。国がコントロールしていたものを、こんどは市民側がコントロールすればいいんです。それには、市民側からの予防原則を示すためにも、必要な情報の収集と市民の

科学としての的確なデータも必要でしょう。科学者・研究者の協力をえて理論武装するためにも、これからは財源も必要になってくるでしょう。

NGO、NPOといった市民活動を支えるうえで、意識ある人がその活動に託す資金を生み出すため、相続税の免税措置の活用などの研究を考えるとときかもしれませんね。

若いころから登山家として深山久弥氏を敬愛し、みずからも「遊山人」と称して、訪れた「私の世界百名山」を記している文化人でもある黒田洋一郎先生。またの機会に山と人と花鳥風月のお話を伺いたいと思います。

黒田洋一郎(つた よういちろう)

1943年東京生まれ。東京大学理学部化学科、同大学院博士課程修了。分子遺伝学専攻。英国ロンドン大学、神宮寺研究所、仏国立神経化学研究所、ター米国立NIHエスエスセンター客員研究員として神経細胞について研究を重ねる。1973年より東京都神経科学総合研究所客員研究員。2002年より客員研究員、黒田洋一郎事務所。

